

せつつの こどもたちへ

志（こころざし）をいだいて



あなたの夢は何ですか？

「わたしの夢は、

です。」

たとえば、

「ケーキ屋さんになりたい」

「スポーツ選手になりたい」

実は、その夢には、

すでに大切な気持ちがつまっています。

たとえば、

ケーキ屋さんやスポーツ選手になりたいのは、

「人を笑顔にしたい」

という気持ちがあるからかもしれません。

そうした誰かのためや自分のためにがんばりたいという
思いや目標のことを志（こころざし）といいます。

志（こころざし）があると、

「なんのためにがんばるのか」

「自分は何がしたいのか」がはっきりしてきて、

毎日の勉強や活動がもっと意味のあるものになります。

そして、「できた！」ってうれしくなったり、

誰かに「ありがとう」って言われたり、

そんなふうには、しあわせや生きがい

感じられるようになります。

たとえまだ夢がなくても、

「大好きなこと」

「大事にしたいこと」には、

すでに志（こころざし）の芽があります。

その芽と一緒に、育てていきましょう。

せつつ し きょういく たいこう
摂津市教育大綱

つながり 未来を拓く せつつの教育

教育理念

つながり 未来を拓く せつつの教育

一人ひとりが自立した人間として、人や社会（まち）とつながりながら、生きる喜びを感じ、豊かな感性と創造力を輝かせ、新しい未来を切り拓く、誰一人取り残さないせつつの教育を進めます。

基本方針

1. 子どもたち一人ひとりが、自ら未来を思い描き、主体的に切り拓く「生きる力」を育みます。

変化の激しいこれからの社会においては、知識や技能を身に付けるだけでなく、社会とかかわりながらそれらを活用し、自らの人生や社会をより良い方向へと変えていこうとする志とその力が求められています。子どもたちが、地域や社会とのつながりを通じて学び、体験を重ねるなど、自ら考え、判断し、行動する「主体的な学び」を実現する教育を進めます。

2. 人と人をつなぐ「ことばの力」を育みます。

「ことば」は、声や文字、表情やしぐさ、まなざしなどを通して思いを伝え、相手を理解する力を持っています。それは人と人をつなぎ、心を動かし、行動を変えることさえあります。この『ことばの力』を育むことは、多様な個性や違いを尊重するつながりを築くとともに、情報を正しく活用し、課題を解決する力にもつながります。子どもたちが感性と創造力を輝かせ、豊かな表現で未来を創る教育を進めます。

3. 家庭、地域、学校とともに生涯にわたる「学びの輪」を広げます。

人生をより豊かにするには、人から人へ学びを広げることや、学びの成果を次世代につなげることなど、地域全体での「学びの輪」が重要です。いつでもどこでも、生涯にわたって学ぶことができ、その成果が十分に発揮できる学びの場の充実に向け、家庭、地域、学校が連携・協働して取り組みます。

4. 豊かな学びを支える教育環境をつくります。

豊かな学びを支えるためには、学校園などが安全で快適な場となるよう教育環境を充実させることが重要です。性別・年齢・国籍・障害の有無等に関わらず、すべての人が安心して学べる教育環境を整えます。

教育大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3に基づき、摂津市および摂津市教育委員会が連携して教育行政を推進する上での基本方針を示すものです。

「志」は、すべての学びの原動力です。志があるからこそ、人は困難を乗り越え、自ら学び、成長することができます。こうした志に根差した学びは、多様な個人の幸せや生きがいにつながるとともに、地域社会全体のウェルビーイングの実現にも寄与すると考えています。

本教育大綱は、「つながり 未来を拓く せつつの教育」という教育理念のもと、市民一人ひとりが豊かな感性と創造力を育み、志ある学びと挑戦を通じて社会を動かし、未来を切り拓くことを願い策定するものです。

令和8年3月 摂津市長 嶋野 浩一郎